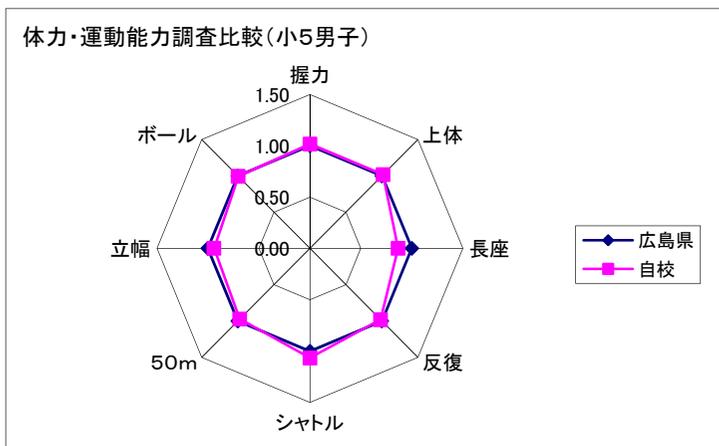
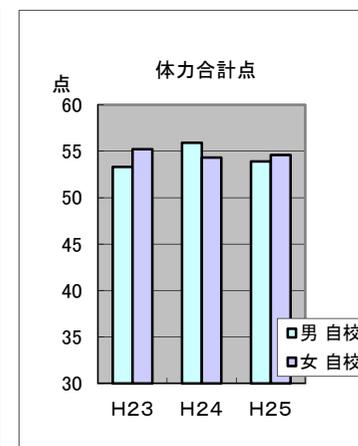
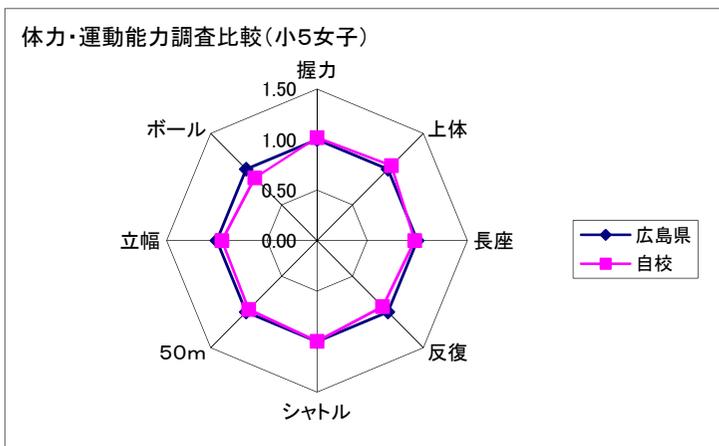


男子の体力合計点 学校 53.9点 県平均 55.8



女子の体力合計点 学校 54.6点 県平均 56.9



H25体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)  
 ・昨年度の本校の記録と比較してほとんどの学年(2年生以外)で伸びが見られるが、1年生女子と3年生男子以外で広島県の平均値を下回っている。

② 上体起こし(中学校区の課題種目)  
 ・1年生男子と2年生女子以外が広島県の平均値を上回った。これまでの取組を継続して行う。  
 ・記録が0回の児童も低学年に多く見られる。個への指導を行う必要がある。

③ 20mシャトルラン(自校の課題種目)  
 ・広島県の平均値を3分の2の学年で上回った。測定にあたって、個々が目標数値を定め、粘り強く取り組んだ成果と考えられる。



課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 ( 50m走 )  具体的な数値目標 (男子9.3秒, 女子9.5秒)	具体的な取組内容 ・体育科の授業の準備運動として、スキップやもも上げなどの走の基本となるドリルを入れるとともに、授業の終わりに60m走を実施して終わるようにする。 ・学期に1回、学年ごとの測定会を行い、数値目標をもたせて記録を高めようとす気持ちを持たせる。
②中学校区の課題種目 (上体起こし)  具体的な数値目標 (男子22回, 女子21回)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・体育の授業の準備運動時に、サーキットトレーニング等の筋持久力を高める運動を取り入れる。 ・運動委員会が、遊具や鉄棒を活用した大会(イベント)を企画し、筋持久力を高めようとする意識の向上を図る。
③自校の課題種目 (20mシャトルラン)  具体的な数値目標 (男子60回, 女子44回)	具体的な取組内容 ・学年単位で持久走大会や、駅伝大会を企画し実施する中で持久力を高めようとする意欲を持たせるとともに、体育科や休憩時間に設定した持久走タイムで粘り強く走る力をつける。 ・陸上記録会や昭和地区のマラソン大会などを目標として、通年の陸上クラブを計画的に運営し、走力を高める取り組みを充実させる。